

指示し過ぎない

サッカーで一番大事で、楽しい事は「自分で決める」事だと思います。
シュートを打つのも、良いサポートをするのも、ディフェンスに行くのも自分で決めます。自分の一瞬の判断でプレーを決めて、良いプレーがちゃんと出来た時には「チョー一気持ちいい」です。難しい事ですが、それがサッカーの楽しさだと思います。練習時、特に基本技術は細かく指導しますが、試合の中では、練習したものを活用し選手自らが判断しプレーします。年齢的に差異もがありますが、普段の生活からも自らが判断する様にしましょう。大事に至らない失敗は成長のとても良い肥料だと思います。

手を出し過ぎない

良い習慣を身につけさせるには時間がかかり根気がいります。子供がしないのでつい手がでてしまいますが、そこは我慢のしどころです。自分でする習慣をつけるのに、小さい年齢の時には☆印のオモチャは☆印の箱に片付ける等工夫は如何でしょうか？試合での昼食時、揃えていない靴を指導者がポイと投げ捨てるイジワルをする時があります。けっこう効きます。子供たちが自らするまで我慢、我慢。

叱り過ぎない

叱り方はとても難しいと思います。つい感情的に怒ってしまいます。感情的に怒る事も必要な時もあると思いますが、しっかり説明して叱った方が良いと思います。また失敗の内容にもよりますが、何故悪いかを説明して手短かに叱った方が効果的かな？あまりグダグダ叱っていると子供たちの心の耳が閉じてしまい伝えたい事が伝わらなくなってしまう様な気がします。良い叱り方を心がけましょう。

以上「3過ぎない」を説明しました。「指示し過ぎ」は「過干渉」、「手を出しすぎ」は「過保護」になるのかな？「過保護」は内容により良い評価もあります。

以上「3過ぎない」→「見過ぎない」と表現したとおり、あまり細かく見過ぎないで少し余裕をもって子供の成長を見守った方が良いと思います。そこで「見過ぎない」をお勧めします。

